豊かなアジアを築く広域インフラ整備の推進を求める【概要】

２０１０年３月１６日
（社）日本経済団体連合会

アジア経済成長戦略

危機を乗り越え、アジアから世界経済の成長を切り拓く（2009年10月）
アジア経済の成長アクション・プランの実現に向けて　（2009年11月）

①地域経済統合の推進

- FTA/EPA網の面の拡大・質の向上
- アジア太平洋地域規模への拡大
- ビジネス環境整備委員会による ハード・ソフトのインフラ整備の対話

後押し

②ハード・ソフトの広域インフラ整備

2010～2020年の インフラ需要 約８兆ドル

アジア総合開発計画での重点プロジェクト

- 重点を置く地域
  インド、インドネシア、ベトナム、タイ、メコン、BIMP
- 重点セクター
  都市、住宅、都市交通・高速鉄道、水資源、通信（ブロードバンド網）、温暖化・環境対策（原子力・高効率石炭火力発電、廃棄物処理）エネルギー安全保障、安全安心・災害対策（地震・津波検知）、農業
- その他
  パイロットプロジェクトの推進

わが国の貢献

実現に向けたわが国の方策

③開発スキームの総動員 およびODAの抜本的見直し

- ODA予算減少の歯止め
- 無償資金協力の財源拡充
- JICA海外投融資の再開、技術協力の推進
- JBIC・JOGMECの機能拡充

④官民連携（PPP）の推進

- ODAとの効果的な連動
- ﾊﾞｲｱﾋﾞﾘﾃｨ・ｷﾞｬｯﾌﾟ・ﾌｧﾝﾃﾞｨﾝｸﾞのｽｷｰﾑ構築
- 民間提案型PPPインフラ事業の早期実施

⑤海外大規模プロジェクトにおける トップ外交の推進

- ハードとノウハウをパッケージで提案
- 在外公館・省庁の横断的なバックアップ
- 総理大臣による大胆な経済外交の展開

貿易拡大　投資拡大　市場拡大　格差縮小

アジアの繁栄

アジアとともに
わが国も成長